

第1章 真岡市の景観特性

1. 自然的景観資源

本市は関東平野の北に位置し、全体的に平坦な地形となっており、東部は八溝山地西麓の標高 200m前後の丘陵地となっていますが、複数の縦断する河川があるため、流域には豊かで肥沃な農地が広がることで、基調となる景観を形成しています。

市内には桜の名所も多く、春には市民のみならず観光客にとっても貴重な自然的景観資源となっているとともに、賑わいの景観も形成しています。



市内の田園景観



八溝山地



五行川



太子の笠松



仏生寺のけやき



北真岡駅真岡鐵道沿い



行屋川沿岸



井頭公園



根本山

2. 歴史的景観資源

市内には高田山専修寺や大前神社、長沼八幡宮等の寺社のほか、桜町陣屋跡や日光開山勝道上人誕生地等の史跡、岡部記念館「金鈴荘」や真岡市久保講堂、長屋門等の歴史的建造物などの文化財として指定・登録された歴史的景観資源が数多く残っており、それぞれが歴史を感じさせる景観を形成しています。

また市内には、文化財として指定・登録されている歴史的景観資源のほかに、地域におけるさまざまな伝統行事等が開催される神社・寺院も、身近な歴史的景観資源となっています。



高田山専修寺 御影堂



大前神社 本殿



長沼八幡宮 銅鳥居



海潮寺の山門



桜町陣屋跡



日光開山勝道上人誕生地



岡部記念館「金鈴荘」



真岡市久保講堂



長屋門

3. 都市的景観資源

土地区画整理事業が行われた市街化区域において、住宅地は閑静な街並みが形成されていますが、土地区画整理事業が行われていない真岡駅東側の商業地は、古くからの街並みが残っています。また、昭和 40 年代から工業団地の造成を断続的に行っている県内有数の工業都市となっており、工業団地には周囲に緑地が配置され、周辺環境に配慮した景観が形成されています。

主要地方道真岡上三川線や都市計画道路亀山八木岡線の沿道は、沿道型商業施設が立地し、賑わいのある景観を形成しています。また、市内には真岡鐵道が運行しており、休日を中心に蒸気機関車（SL）が運行され、本市を特徴づける景観が形成されています。

真岡市総合運動公園や道の駅にのみや、久保記念観光文化交流館等の観光交流施設は、市民の交流の場としてだけでなく、来訪者のための施設としても機能し、賑わいのある景観を形成しています。



下高間木地区



長田地区



真岡駅周辺



真岡第一工業団地



真岡第五工業団地



主要地方道真岡上三川線



都市計画道路亀山八木岡線



真岡駅



蒸気機関車（SL）



真岡市総合運動公園



道の駅にのみや



久保記念観光文化交流館

4. 文化的景観資源

市内には、桜まつりなどの身近なイベントのほか、真岡の夏まつり「荒神祭」や長沼八幡宮太々神楽等の先人たちが守ってきた祭りや郷土芸能が多数開催され、各地域の特性ある景観を形成しています。

そのほか、日本一の生産量を誇るいちごの生産時期に、ビニールハウスで電照栽培が行われる風景や、定期的に行われている「真岡もめん 着物DE まちあるき」による、真岡木綿を身に纏い門前まちを歩く姿も、本市の特徴的な景観です。

また、筑波山や五行川などへの眺めは、市内の各学校の校歌や「真岡市民のうた」等に歌われ、真岡市民の心象風景として親しまれています。



桜まつり（行屋川）



長沼八幡宮太々神楽



真岡の夏まつり「荒神祭」



真岡の灯ろう流し



いちごの電照栽培



真岡もめん 着物DE まちあるき



筑波山



城山から市街地



五行川